

つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 23rd year since 1986

3月12日(木) 上野年度3月第2例会報告

稲葉国際奉仕委員長から



会長点鐘



稲葉国際奉仕委員長

3月第2例会が春を感じさせる穏やかな日差しとそよ風が頬をなでる12日に行われた。いつものように上野会長による点鐘でスタートし、ロータリーソング斉唱のあと小城親睦委員長からお客様の紹介があった。

アメリカ トーランスロータリークラブの原田亜紀様がお見えになり、いつまでも元気で若い体でいるための効果的なボディマッサージのパンフレットをご持参いただいたので各テーブルに配布させてもらった。

続いて稲葉国際奉仕委員長から第6分区吉田ガバナー補佐より連絡のあった08-09年度GSE受け入れについての説明があった。これによると受け入れ期間は来る4月12日～18日の1週間でドイツから女性3名、男性2名のあわせて5名をお世話するそうである。それぞれの職業としてインテリアデザイナー、ジャーナリスト、グラフィックデザイナー、リサーチアシスタントとなっており、いずれも26～30才だそうであるがスクールインスペクターの男性だけは定年退職者の年配男性とのことである。これらの職業に合致するかあるいは近い職業の会員がお世話することが望ましいと考えているそうである。これまではホームステイが中心であったが、昨今はホテルステイの傾向にあり、今回もホテルステイの方向で調整中とのことであった。引率先としては研究学園都市のうち一般に公開されている国土地理院や産総研の地質標本博物館などが考えられるが現在つくば近隣3クラブで相談している。またTX（つくばエクスプレス）を利用し、都内の浅草周辺の見学も検討しているそうである。しかしながら詳細は現在未確定であり今後も引き続き決めていくそうである。稲葉国際奉仕委員長によるGSEについての説明のあとは、11月生まれの大里会員の誕生祝いの記念品贈呈をなぜか今回行いが食事タイムとなった。（報告者：安藤）

小城親睦委員長と
皆葉SAA

大里会員

半期事業報告 クラブ会報委員会

08-09年度の半期が経過したということで皆葉SAAからクラブ会報委員会が指名されてしまい、急きょ委員長である安藤と岡本副委員長がそれぞれ報告に立つことになった。まず安藤委員長からは例会に出席できない期間のクラブ会報作りを岡本副委員長にお願いしてしまったことの懺悔があり、会報作りの意義と大切さを見出した旨の話があった。岡本副委員長からはクラブ会報作りを通して様々なロータリー活動にふれる機会が多くなり勉強になったという話と、毎回ネタに苦労しているの、今後も写真や記事を提供していただければ会報に掲載するというお願いをさせていただいた。



クラブ会報委員会

特集

ローターアクトの活動参加報告



安藤クラブ会報委員長が半期事業報告の中で少しだけふれた、つくば学園ローターアクトクラブが2月11日（水）に特別養護老人ホーム「新つくばホーム」で行った節分豆まきの奉仕活動についてご報告します。

1. 参加者 RAC 石塚会長、小林会員、吉川さん（土浦RAC）
RC 上野会長、塚原地区アクト委員長、増山会員、安藤会員
新つくばホーム 入居者約120名 職員約30名
2. 内容 豆まき用の豆を120名分用意する
会場ホールに現れた「鬼」に豆をまき、退治する
参加者との交流の場とする

以上のような内容で、アクトのメンバーがホーム側と連絡を取り合いながら準備を進めて、我々ロータリアンがお手伝いをするような感じと聞いていましたので当日は、ほぼぶっつけ本番であった。

新聞広告や折り紙を利用したアクト手作りの豆を入れる容器に、市販の煎った大豆をみんなで取り分け、お茶とおまんじゅうを用意して開始時刻を待った。

続々と集まってくるお年寄りの人数に驚いたが、上野会長の挨拶、石塚会長の挨拶、施設側からの挨拶などが行われた後、お年寄りたちは職員にリードされ準備運動等で体と心をほぐして準備OK。

予定では豆まきの後に楽しんでもらおうと思って用意していた、おまんじゅうを早々と食べてしまい、お茶までも飲んでしまった、と報告を聞いた。そして豆を膝に置いていまや遅し、と鬼の登場を心待ちにしていた。

すでにお年寄りたちは鬼退治へのモチベーションを上昇させてしまっていたのだ。

一方そうとは知らずアクトの若者2名と共に、安藤会員はその腹が突き出た体型から自ら鬼の役を買って出た。それを見た塚原アクト委員長も鬼役担当となり、全部で4人の鬼が退治されることになった。

しかしこの鬼の衣装が、恐ろしくカッコ悪い。破れたパンツやオニじゃないお面もあるし・・・何だか本当に鬼として扱ってもらえるのか不安がこみあげてくるが今さらどうしようもないか。

そして鬼退治をする時間がはじまり、いまひとつ勝手のわからない鬼たちはお年寄りたちの中に散っていく。

（ここからは安藤鬼の回想）

～元気がなさそうなお年寄り、腰が抜けたりしない程度に怖がらせてやれとばかり大声を張り上げて「こらあ、鬼だぞお！」とのし歩いた安藤鬼。武器だか棒だかはわからないものを大きく振り上げ、無表情な老婆や車イスに座ったジイサンたちを次々と震え上がらせていく。こんなとき鬼はどんなセリフを口にするのか思い出そうとしたが思い当たらず、とりあえずテキトーな言葉を繰り返し、老人たちに刺激を与えてやろう、などと思っているうちにだんだんこの役が気に入ってきた。「おらおら、鬼サマのお通りだあ」とかのセリフが自然と口をついて出てくるようになって来た。ヨシ、順調だ。楽しくなってきたゾ。しかしある一画を襲撃したところマジにもものすごい形相と迫力で必死な抵抗を試みる老人の一団に反撃されてしまった。

その豪快な豆まき攻撃は思った以上にするとく、人一倍表面積の広い腹部や無防備な背後を痛みが走った。

（多少大袈裟ですが）

つづく→



特集

節分祭(新つくばホーム)



豆をとりわけます



上野会長たち



塚原鬼と安藤鬼



スリムな吉川鬼と小林鬼



入居者代表のお礼



職員さんたち



石塚会長の挨拶



豆のあと片づけ

つづき→

その必死の形相にあっけにとられ、オーバーアクションでひっくり返り笑いを誘う。お面の穴から見るとほかの鬼たちも同じようにやられていたのがオカシかった～

着替えた後の交流タイムでは、目に涙を浮かべながら「ありがとう」と言われたり「また来年も来てよね!」「今日の豆まき、すごく楽しかったよ」などの言葉をかけてもらったりした。手を握られ、肩を叩かれ「ありがとう」と涙をこぼしながら感謝される、こんな場面は日常ではそうそう出くわさない漫然とした生活を送っている安藤鬼にとって、この感動的なこみあげてくる想いに心を揺さぶられたのだろうか35年以上前の中学生のころ、よその中学校で児童劇団に入っている女の子(コメットさん出演してた)が中心となって友達数人とグループを作って老人施設の慰問で劇をやっていた記憶を突然よみがえらせた。

もう自分ではすっかり忘れていた記憶だったが、とても鮮明にあのころの劇の練習風景や大道具を担当していたことなどを稲妻の閃光のように思い出したのだ。さらに安藤鬼の母親も三鷹市内の特別養護老人ホームに入居しており、年に数回訪ねるのがせいぜいである。現在では面会しても会話のやり取りができる状態ではないと思うのだが、施設の人には「お母さんは息子さんと話していることを判っているんですよ」となぐさめられている。

こうした私的な状況も重ねあわせたからだろうか、いずれにしても今回は安藤鬼にとってはとても印象的なイベントとなってしまった。入居しているお年寄りの中にも、年に数回しか家族らと面会できない方が大勢いるのではないかとも思う。こうして施設でお年寄りの面倒を献身的に見続けてくれる職員さんの献身的なご苦労には本当に頭が下がる。しかし実のところ今回私は多少の偏見を持って、恥ずかしながら腰が引けた消極的な姿勢でこの節分祭に参加したことをここで正直に白状しておく。しかしその場に行ってみたらアクトのメンバーが少人数にもかかわらず一生懸命に頑張っていたり、サポートするロータリアンたちのさりげない姿を見て、私自身動かずにいらなかったというか、自然に動いてしまったのであった。こうしたイベント事は本来事前の準備やあと始末が一番大変である。今回も相当大変だったことは察しがつく。だからこそせきかくきかけができたのだから、また来年からも継続的に交流ができればいいと思うし、次はもっとシナリオを練ったお年寄りをもっと喜ばせる豆まきにできないかと思い巡らす自分がいる。そしていつの日か自分自身が節分の豆まきを心待ちにする側になる日もそう遠い話ではないのだと不安も感じている。もう私には中学生の頃のようなただ純粋で無垢な思いだけではやっていける自信がない。中高年の今となっては、すっかりいろいろなものやしがらみが染みついてしまったからだ。しかしローターアクトのみんなにも私のように忘れた頃に突然思い出すのではなく、今自分達が汗をかきながら活動している中で気付かされる様々な感動や経験を胸に生きて行ってほしいし、いや君たちならきっとできると確信する。帰宅する車を運転しながら来年もゼツタイ鬼をやらせてもらおう、と決めた。

(報告者: 安藤)



3月12日(木)第2例会会場から



とても熱心に読む宮澤会員



鈴木会員も熟読中。



手帳とにらめっこは増山会員



真剣な表情の国府田会員



久々出席の柴原会員と石川会員



お食事報告

本日のお客様



原田亜紀様

アメリカ トーランスRC会員

美容・健康のスペシャリストと
うかがっております。



男性もお顔の手入れが必要
実演モデルは石川直前会長

第6分区ボウリング大会報告 3月13日(金)

3月13日(金)に第6分区の親睦ボウリング大会が土浦市乙戸のジャックボウルを会場として開催されました。つくば学園ロータリークラブからは11名の選手がエントリーし、他クラブと熱戦をくり広げてまいりました。



当クラブでは団体戦3連覇が(一説ではそれ以上の連覇かも?)かかっていたため前の週には合同練習会を催すなど、必勝を誓って臨んだ大会でした。ハイレベルなゲームが展開される中、下記のように3~7位を独占する入賞者を輩出することができました。お疲れ様でした。

当クラブからの参加選手

3位	塚原英夫	会員
4位	磯山正蔵	会員
5位	菊池克之	会員
6位	中山正巳	会員
7位	安藤栄敏	会員
35位	染谷洪一	会員
37位	大野治夫	会員
48位	大堀健二	会員
49位	増山 弘	会員
63位	齊藤修一	会員
68位	佐藤裕光	会員(ガバナー補佐賞)

団体戦結果(上位3名合計)

1位	つくば学園RC	1018
2位	土浦南RC	1009
3位	石岡87RC	948
4位	つくばシティRC	864
5位	阿見RC	834
6位	土浦中央RC	829
7位	かすみがうらRC	816
8位	石岡RC	801
9位	土浦RC	790
10位	つくばサンライズRC	776

各チーム上位3名のスコア合計で争われる団体戦では、大会当日の表彰式の成績発表で2位と発表され、惜しくも団体戦3連覇を逃したと思いました。しかし後日スコア集計に手違いがあったそうで、順位訂正がなされました。その結果つくば学園RCが優勝ということになりました。参加選手の皆様、栄えある団体戦3連覇というチームワークで勝ち取った優勝おめでとうございます。同じ分区に所属する仲間同士、みんなでわきあい合いといい汗をかきました。来年もまた皆さんで力を合わせて明るく楽しく頑張りましょう。



ガバナー補佐賞で～す！



特集

ポリオ撲滅について



ポリオに掛ってしまった子供のドキュメンタリー番組を見た。実はロータリーのポリオ撲滅運動を言葉では知っていたが、ポリオという病気についてはよく知らなかったのだ。子どもの時にワクチンを接種するだけで予防できる伝染病であるにも関わらず、今なおこの病気におびえながら暮らしている人々や地域が存在する現実がある。ポリオは発症してしまうと完治は困難で、予防が最善策だそうである。少しでもポリオ撲滅についてのロータリー活動をいま一度再認識していただければありがたい。

ポリオとは

ポリオ（骨髄性小児麻痺）は身体麻痺の後遺症をもたらす、時として命さえ奪う伝染病です。アジアやアフリカ、中東の国々では今なお、主に5歳未満の幼児がこの病に冒されています。

ポリオは身体を麻痺させ、時には死に至らしめることもあります。治療法のないポリオに対する最善の対策は予防です。わずか米貨60セントのワクチンで、一人の子供を、身体を自由を奪うこの疾病から一生守ることができるのです。



ポリオ感染後、数時間のうちに麻痺症状を引き起こすケースもありますが、後遺症による麻痺障害を治療で治すことはほとんど不可能です。

最も深刻な症状では、ポリオウィルスが脳幹の運動ニューロンを侵し、呼吸困難や死亡に至るケースさえあります。過去には、ポリオは、身体障害の最大の原因となっています。

ポリオが撲滅されなければ、世界中の人々はこの病の脅威に怯えながら暮らし続けることになります。世界が50億米ドルを投資したこの撲滅活動が成功しなければ、今後40年間に1,000万人以上の子供が身体障害を患うことになるかと推測されています。

ロータリーの活動

ロータリーの歴史上、最も大掛かりなプログラムであるポリオ・プラス、はポリオ撲滅に向けた世界的な協同運動において、ボランティアの最大の担い手として貢献しています。20年以上にわたり、身体障害の原因となるこの病を世界から撲滅するこの活動において、ロータリーは民間部門のリーダー的役割を果たしてきました。現在、ポリオ・プラスおよび撲滅推進活動におけるその役割は、人道的目標の実現に向けて公共と民間の両部門が協力するモデルとして、世界中で認められています。

ロータリーは財政的に、あるいはボランティアという形で支援を提供するほかに、公共部門と民間部門の他団体にも支援を呼びかけています。その活動の一つが、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から寄せられた巨額の補助金がきっかけとなってロータリーが開始した「End Polio Now（今こそポリオ撲滅のとき）」のキャンペーンです。



「この国際社会では、万国、万人の子供にとって、明らかに良いことを行う機会というものは、めったにありません。ポリオの撲滅はそうした機会のひとつなのです。」



世界保健機関（WHO）のマーガレット・チャン事務局長は、2008年RI国際大会の合同記者会見で、ポリオ撲滅を世界保健機関の最優先活動とすることを発表しました。Rotary Images/Monika Lee



国際親善奨学生近況報告

下村正様、つくば学園ロータリークラブの皆様

国際親善奨学生の和田龍太です。
大変ご無沙汰しておりまして、申し訳ありませんでした。
完全帰国まで、残りあと2か月と迫って参りましたので、
二つだけ近況報告させて頂きたいと存じます。

①ロンドンへの史料調査

筑波大学にてイギリス外交に焦点を当てて研究をしていたこともあり、
今年2月にイギリス国立公文書館に調査に行きました。
その際、同じ2820地区からイギリスの大学に派遣されている
七尾友美子さん(カーディフ大学、水海道RC)、
神戸百合香さん(レディング大学・つくばシティRC推薦)に
ロンドンでお会いしてきました。その時のお写真添付致します。



②剣道部での嬉しいニュース

私の指導しているジョージワシントン大学剣道部の部員
4人(アメリカ人の学部生)全員が、昇級審査に合格。
新たに1級二人、2級一人、3級一人が登場しました。
私も、彼らに追いつかれないように(!)、今年の昇段試験
(四段受審予定、まだまだ修行不足です)に向けて日々精進しております。

ロータリーのご支援がなければ、このような武道を通じた
素晴らしい形で国際文化交流ができなかったと強く認識しております。
本当にロータリークラブの皆様には感謝しております。
完全帰国致しました折に、改めて感謝の意を表明させて頂きたいと存じます。

それでは、来月にご報告申し上げます。
和田龍太

全国ロータリークラブ野球大会



土浦RC野球部員各位

第27回全国ロータリークラブ野球大会の日程が決まりました。

5/30(土) 前夜祭 ホテル竹園芦屋

5/31(日) 第3試合 11:20~12:50 甲子園球場

仕事他の調整を宜しくお願いします。

土浦RC野球部事務局

夜の移動例会報告 3月19日(木)

3月19日(木) 19時より夜の移動例会を「インカローズ」にて行われました。今回の移動例会場所はとてもアダルトでシックな雰囲気のお店で、つくば学園ロータリーの会員にとっても似合っていたと思います。さすがに年度末だからでしょうか、若干皆さんの集まりが遅く19時の開始時刻を15分程遅らせてのスタートになりましたことをお詫び申し上げます。さてSAA皆葉委員の司会で始まり、東郷次年度会長の挨拶のあとは小城親睦委員長から例会企画趣旨の説明がありました。それによりますとこのお店は内装にウン億円も掛っているそうで道理でイスが革張りだったりするわけです。豪華なインテリアとデザインがおしゃれな空間を演出しているんですね。石川直前会長のご発声で乾杯をしました。料理やアルコール類を楽しみながら、会場内のあちらこちらで談笑の華が咲きました。それにしても事務局の小川さんは服部さんのフォロー、大活躍して下さいました。御苦労さまです!



写真をご覧になればおわかりいただけますが、参加者の笑顔が今夜の移動例会の成功を物語っております。最後は上野会長の挨拶があり、佐藤次年度幹事の中締めでお開きとなりました。なんとなく出席者も多かったような気がしました。皆様ご協力ありがとうございました。親睦委員会の方々、素敵な夜をありがとうございました。

今週のニコニコBOX

飯田 正行	晩くなりましたが、先日のワークサミットでは多くの皆様のご協力を頂きありがとうございました。また、来週は小城委員長に私と塚原さんの誕生日パーティを企画して頂きありがとうございます。シャンパンはドンペリじゃなくてもいいですよ。
齊藤 修一	事務局 服部様へ 服部様が休業中の為、例会出席率が下がってしまうと懸念していました。が、思ったほどではなかったのは、臨時事務局員 小川さんのお陰でしょうか。どうぞご懸念無く病氣療養のご専念下さい。 ありがとうございました。
安藤 栄敏	昼の例会、また久しぶりになってしまいました。休みが続いたあとの出席は何となくアウェイな感じがして照れくさいです。100%出席まで8アンダーだと思いますので、後半は頑張ってメイクします。



2月のニコニコ大賞は石川会員と飯田会員に決定いたしました。おめでとうございます。

本日の合計	¥30,000-
本年度累計	¥274,000-



出席率報告

3月12日(木)

無届欠席”ゼロ”、出席率70%以上が目標！

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	出席率
65名	46名	19名	4名	3名	70.76%

「無届欠席数」
4名でした！



報告

出席委員長
浦里浩司

プログラム 予告

3月 識字率向上月間

- 3月26日(木) 例会 (オークラフロンティアホテルつくば)
 ◇『つくば学園ロータリー基金について』 石川英昭委員長
- 3月28日(土) ローターアクト第17回地区大会(ラ・フォレスタ・ディ・マニフィカ)
- 4月 2日(木) 移動例会 観桜会(グランド東雲) 19時～
 ◇会長挨拶
- 4月 9日(木) 休 会 (4/11・12 地区大会の振替)
- 4月11日(土) 国際ロータリー第2820地区 地区大会(土浦市民会館)
 12日(日) 国際ロータリー第2820地区 地区大会(土浦市民会館)
- 4月16日(木) 移動例会 職場訪問 その後は「懇親会」を予定
- 4月23日(木) 例会 (オークラフロンティアホテルつくば)
 ◇新入会員卓話 宮澤泰輔会員
 ◇会員・奥様誕生・結婚祝い ◇3月ニコニコ大賞
- 4月30日(木) 休 会 (定款第5条第1節により)



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい

<http://www.46gama.com/>

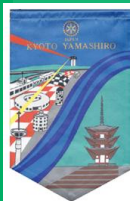
編集後記

(クラブ会報委員長: 安藤)

●今月からしばらくは行事が多い季節です。私達日本人にとって桜の季節はとにかくうきうきそわそわしてしまうようです。企業では人事異動もあり、家庭では卒業・入学・進学の時期でもあります。クラブの活動も活発に行われます。来月は地区大会があります。来月は通常の例会が1回であとは移動例会になりますので皆様お間違えの無いよう、スケジュール確認をお願い致します。だからというわけではありませんが、クラブ会報委員会が発行するクラブ会報も、今回は内容盛りだくさんの合併号とさせていただきますことをご了承願います。さあ来月はもっと大変ですよ、岡本副委員長!

●先日、唐突に学生時代の友人から久しぶりに電話をもらった。もうすいぶん長いこと逢っていないくて年賀状のやり取りだけの付き合いになっていたから少し驚いた。彼は父上と同じ警察官の道を歩んでいたが、どうやら心の病になり入退院を繰り返したそうで最近になって奥様とも離婚し、息子たちとも離れ離れになってしまったそうである。仕事も辞めたらしく現在は独り身となり、50にもなって求職活動中との身の上近況報告だった。警察官なら就職をあっせんしてもらえそうなものだがさすがに世の中も厳しいらしくかなり参っている様子だった。私にとっても明日は我が身である。春先の年度替わりでもあることだし心新たにカミさん孝行、家族サービスの励行!を指差し確認しながら忘れずに生きて行かねば、と心に誓った。家内安全!健康第一!

例会日 木曜日 12:30～13:30
 例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」
 つくば市吾妻1丁目1364-1



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ
 (2650地区)

つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email: gakuenrc@46gama.com